NIE実践報告

1．タイトル：**図書室の「クリッピング資料」をつくろう！**

2．学校名

北九州市立花尾中学校

3．実践者名（代表者名）

山本智美

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　112人

6．単元（本時の学習課題）名

「クリッピング資料をつくろう～日本の自然災害」（社会科）

7．目標（狙い）

日本の自然災害の特色について関心をもち、課題に応じた新聞記事を選択し、レイアウトを工夫してクリッピング資料をつくる。

8．評価の視点

継続的に「日本の自然災害」に関する情報やデータを収集・選択し、適切に活用して視覚的に分かりやすいクリッピング資料を作成している。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

世界の地震や火山の分布　（教科書教材：帝国書院）［社会科：1時間］
日本の気候の特色　（教科書教材：帝国書院）［社会科：1時間］
日本のさまざまな自然災害　（教科書教材：帝国書院）［社会科：2時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①クリッピング資料づくりの方法を知り、活動の計画を立てる。（１時間）
②クリッピング資料を作る新聞記事の準備をする。（本単元実施中の長期課題）
③クリッピング資料を作る（１時間）・・・（本時）
(留意点)
・切り抜く前に記事を赤鉛筆で囲み、他の記事が入らないようにする。
・１枚の台紙に、1つの件名の記事を貼る。台紙ごとに必ず件名を書く。
・新聞名や日付は台紙ごとに書かせ、資料の日付・出典を明確にする。
・記事を見やすくするために、レイアウトを工夫させる。
・環太平洋火山帯に属している日本列島は、地震や火山が多いことを理解し、これらは災害と恩恵の両方をもたらしていることも捉えさせる。
・日本では、さまざまな自然災害が発生し、それは地域による違いがあることが理解させるとともに、災害を防いだり、被害を少しでも食い止めたりするために、国内各地でさまざまな対策がとられていることに気づくことができるよう支援する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞切り抜きを始めた当初は、「めんどうくさい」「何が書いてあるのか分からない」「読めない漢字や意味の分からない言葉が多い」という意見が多かった。しかし、学習後は「文章を読む力」や「重要な文を見抜く力」がつき、「新聞を通して知識が広がった」と感じる生徒が増えた。また、友達と新聞記事の内容について話ができるので、新聞を読むことが楽しくなった生徒もいる。新聞に慣れ、知りたいテーマが身近に探

12．成果と課題

新聞の切り抜き作業を通して、日本の自然災害の実態についてイメージをつかむことができた。
また、課題に応じた資料を収集する力が伸長した。さらに、記事を読みながら共感したり、記事の内容を読んで状況を想像したりすることができるようになってきた。
作成した「クリッピング資料」は、件名別に整理して図書室で閲覧できるようにしている。しかし、現在、まだほとんど活用されていない。今後の課題は、どのようにして新聞切り抜き資料を充実させていくかということと、「クリッピング資料」利用率の向上である。魅力的な資料提示法や、学習方法について工夫していきたい。